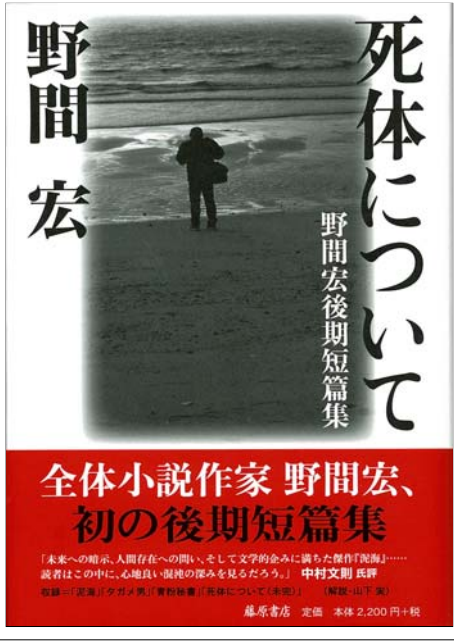


6/7(火)『読売』大きく紹介!

「野間宏 没後20年の再評価」 「震災後の『言葉』信じる礎」



●全体小説作家 野間宏、初の後期短篇集!

死体について

野間宏後期短篇集

「推薦」中村文則
「解説」山下実

社会の問題全体、人間の悪と欲望の全てを捉えようとする全体小説家の巨大な「文学」。未だ単行本化されていない後期短篇を初集成! 「収録」「泥海」「タガメ男」「青粉秘書」「死体について(未完)」

ISBN978-4-89434-745-8
四六上製 二四八頁 二二〇〇円



〈私の出発点は戦争のどん底にこかれた人間の視覚、聴覚、嗅覚、触覚などを見直すところにあった〉

野間は戦争で生死を弄ばれた極限の体験から作品を生んだが、現代を生きる作家は今、震災の暗闇から言葉を紡ぐことを迫られている。「戦後」と「災後」の文学状況は強く響き合う。

高村薫氏は、左翼学生の悲劇を描く『暗い家』などに触れ「戦中に山ほどあった悲劇を、一人の個人が体で受け止めて書いた作品小説家が六十数年前、全身で抱いた悲しみの塊に21世紀の私たちは打ちのめされる」と話した。

ご注文は FAX でお願いいたします。FAX: 03-5272-0450

番線印

ご担当者

藤原書店 東京都新宿区早稲田鶴巻町 523 tel 03-5272-0301 fax 03-5272-0450 info@fujiwara-shoten.co.jp

野間宏後期短篇集 死体について

四六上製 248頁 ISBN978-4-89434-745-8 2200円

()部 作家の戦中日記 I932-45 (上) (下)

函入分売不可 (上) 640頁 (下) 642頁 ISBN978-4-89434-237-8 30000円